

事業実績評価(令和2年度分)

<掲載事業について>

No.	事業名	区分
1	災害に強い住環境の整備	総合計画 1-1-(5)
2	行政サービスの情報化推進	総合計画 共-4-(1)
3	歳入の確保	総合計画 共-2-(3)
4	地域包括ケアシステムの構築	総合計画 3-2-(1)
5	預かり施設の拡充、体制整備	総合計画 4-1-(1)
6	グローバル化対応教育の推進	総合計画 4-2-(5)
7	新たな賑わいの創出	総合計画 5-3-(1)
8	一圏域応援ステーションー 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞穂市

基本目標1 安全で安心して暮らせるまち

①治水・防災

(5) 災害に強い住環境の整備

所管 都市開発課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-								
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地の改善や住宅の耐震性向上のため、耐震診断や補強工事等の実施について支援します。 ・狭あい道路等に関する調査を実施します。 										
主な事業	●建築物等耐震化促進事業【重】										
年度別実施計画	R2年度（実績）	事業費(千円)	R3年度（計画）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)					
	●木造住宅耐震補強工事補助	4,186	●木造住宅耐震補強及び除却工事補助	4,536	●木造住宅耐震補強及び除却工事補助	【調】					
	●建築物耐震診断補助	0	●建築物耐震診断補助	1,000	●建築物耐震診断補助	【調】					
	●ブロック塀等撤去工事補助	439	●ブロック塀等撤去工事補助	3,000	●ブロック塀等撤去工事補助	【調】					
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
住宅の耐震化率			%	80	80	80	80	80	80	95	97
自己評価	目標達成に効果があった	耐震化率95%（住宅約34百戸、特定建築物約16棟の耐震化）を目指しており、R2実績は耐震診断が3戸・住宅耐震補強が4戸であった。実績としては微数ではあるが、効果があったと評価できる。耐震化が進まない要因として、一般住宅の所有者は高齢者が多く、耐震補強工事には多額の資金が必要となることから耐震化が進んでいない。耐震化率の向上を目指し、さらなる普及啓発活動に取り組む必要がある。									
外部評価											

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

④情報

(1) 行政サービスの情報化推進

所管 財務情報課・市民課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ行政サービス(総合窓口)で利用できる手続きを拡充するため、各種情報システム等の見直しを行うとともに、業務の流れや情報システム全体の最適化を図ります。 情報化への対応とともに、事務事業の抜本的見直し、経費の削減に努め、効果的なサービスを展開していきます。 個人番号カードには本人確認の手段としての利用に加え、多目的な利用が想定されていることから、行政サービスへの利活用を推進し、利便性の向上を図ります。
	<p>●行政サービス情報化推進事業【重】</p>

年度別実施計画	R2年度(実績)	事業費(千円)	R3年度(計画)	事業費(千円)	R4年度(計画)	事業費(千円)
---------	----------	---------	----------	---------	----------	---------

●社会保障・税番号制度への対応(証明書コンビニ交付サービスの実施)	37,706	●社会保障・税番号制度への対応(証明書コンビニ交付サービスの実施)	29,151	●社会保障・税番号制度への対応(証明書コンビニ交付サービスの実施)	29,550
●ぴったりサービスの更なる利便性向上に努める。	647	●ぴったりサービスの更なる利便性向上に努める。	647	●ぴったりサービスの更なる利便性向上に努める。	647

目標指標	単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
個人番号カードの多目的利用サービス数	件	0	1	2	2	3	3	3	3

自己評価	<p>目標達成に非常に効果的であった</p> <p>マイナンバーカードの普及に伴い、令和2年度のコンビニ交付サービスは、2,464件と前年度の2倍以上の利用であった。</p>
------	---

外部評価	
------	--

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

② 財政運営

(3) 歳入の確保

所管 総合政策課・財務情報課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	-
--------	---	-------------------	---

施策の内容	・ふるさと納税や公民連携による事業収入等による新しい歳入源を確保します。			
-------	--------------------------------------	--	--	--

主な事業	●ふるさと納税の推進【重】 ・ふるさと納税 ・企業版ふるさと納税 ○庁内マット	○デジタルサイネージ ○ネーミングライツ
------	--	-------------------------

年度別実施計画	R2年度（実績）	事業費(千円)	R3年度（計画）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)
	●ふるさと応援寄付金の奨励	294,037	●ふるさと応援寄付金の奨励	280,977	●ふるさと応援寄付金の奨励	【調】

目標指標	単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
【参考指標】ふるさと納税寄付額（実績額）	千円	2,590	87,668	296,167	536,473	522,774	540,551	500,000	500,000
【参考指標】ふるさと納税経費（実績額）	千円			137,500	284,114	269,068	286,791	250,000	250,000

自己評価	目標指標無し	前年度に引き続き、活用するポータルサイトを増やしたことや、新しい記念品を投入したこと、ふるさと納税の認知が図られたこと等で、寄附金額が維持できている。経費率（募集に要した経費/寄附金額の合計）は53%程度あり、総務省基準の5割を超えてしまったため、寄付金額の見直しや経費削減を更に進める必要がある。
------	--------	---

外部評価		
------	--	--

基本目標3 心が通う助け合いのまち

②高齢者福祉

(1) 地域包括ケアシステムの構築

所管 地域福祉高齢課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標3-(5)地域の福祉・医療体制の充実

施策の内容

- ・要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、医療・介護・予防・住まい等のサービスが一体的に提供される仕組みを構築します。
- ・生活支援サービスに関わる団体・NPO・ボランティアを支援しネットワーク構築に取り組みます。

主な事業

- 地域包括ケアシステム構築事業【重】
- 在宅介護支援センター、地域包括支援センター等の相談体制整備事業
- 日常生活支援サービスの充実
- 介護人材育成促進事業【重】

年度別実施計画	R2年度（実績）		R3年度（計画）		R4年度（計画）	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
●地域ケア会議	108		●地域ケア会議	216	●地域ケア会議	216
●ネットワークシステム維持管理	858		●ネットワークシステム維持管理	858		
●介護人材育成研修助成	85		●介護人材育成研修助成	200	●介護人材育成研修助成	200
●高齢者交通費助成（タクシー助成）	1,878		●高齢者交通費助成（タクシー助成）	7,433	●高齢者交通費助成（タクシー助成）	7,433
●踏み間違い防止装置装着補助	840		●踏み間違い防止装置装着補助	900		
			●特殊詐欺被害対策機器購入助成	1,000	●特殊詐欺被害対策機器購入助成	1,000

目標指標		単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
地域包括支援センター・在宅介護支援センター		箇所	4	4	4	4	4	4	4	4

自己評価

目標達成に相当程度効果があった

高齢者交通費助成（タクシー助成）につき、要件を緩和し、前年度より利用実績が大幅に増加した。

外部評価

基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

①子育て支援

(1) 預かり施設の拡充、体制整備

所管 幼児教育課・教育総務課

重点施策該当		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		-							
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける保育士、指導員等を確保し、受け入れ体制を整備します。 ・子どもが健全に養育される質の高い幼児教育・保育環境、保育サービスの提供等、子育てと仕事の調和のとれた環境づくりを促進します。 ・老朽化した保育施設の建替等を推進します。 ・既存保育施設の大規模改修による長寿命化を推進します。 ・保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける受け入れ体制を充実します。 											
	主な事業 ●子ども預かり施設の拡充、体制整備事業【重】 ●潜在保育士就業促進事業【重】 ●待機児童対策施設整備事業 ●保育施設大規模改修事業											
年度別実施計画	R2年度（実績）		事業費(千円)	R3年度（計画）			事業費(千円)	R4年度（計画）			事業費(千円)	
	●私立保育所補助等		68,243	●私立保育所補助等			92,647	●私立保育所補助等			92,647	
	●保育士就業チャレンジ研修		96	●保育士就業チャレンジ研修			206	●保育士就業チャレンジ研修			206	
	●新任保育所長・新任主任研修		0	●新任保育所長・新任主任研修			0	●新任保育所長・新任主任研修			0	
目標指標				単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
子どもの預かり施設の拡充、体制整備事業				人	2,018	2,078	2,143	2,100	2,163	2,172	2,390	2,320
潜在保育士就業促進事業(年間2人以上：累計)				人	1	4	8	13	14	15	18	21
自己評価	目標達成に非常に効果的であった		市内の私立保育園と私立認定こども園、市外の私立保育園、認定こども園、小規模保育所に要する費用を支弁した。また、私立保育所の一時預かり保育事業費、延長保育対策費、地域子育て支援センター事業費、運営費に対し補助した。									
外部評価												

基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

②学校教育

(4) グローバル化対応教育の推進

所管 学校教育課・教育総務課

重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標1-(3) 教育力の向上

施策の内容
 ・英語力やICT活用能力等、児童生徒がこれからのグローバル社会に対応し、たくましく生き抜く力を育む教育を一層充実します。

主な事業
 ●英語教育推進事業【重】
 ●ICT教育推進事業【重】

年度別実施計画	R2年度(実績)	事業費(千円)	R3年度(計画)	事業費(千円)	R4年度(計画)	事業費(千円)
	●外国人指導助手派遣事業 ●小学校ICT機器導入(特別教室等)	45,144 62,397	●外国人指導助手派遣事業 ●英検IBA活用事業 ●Englishサロン	47,689 865 10	●外国人指導助手派遣事業 ●英検IBA活用事業 ●Englishサロン	【調】 【調】 【調】

目標指標	単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
学校教育における情報媒体機器の整備 タブレット端末(小中)	台	(中)各校7台 (小)0台	(中)各校0台 (小)0台	(中)各校0台 (小)0台	(中)各校0台 (小)0台	(中)0台 (小)280台	(中)1797台 (小)3691台	各校40台	各校40台
学校教育における情報媒体機器の整備 タブレット端末(特支学級)	台	0	(中)19台 (小)13台	(中)0台 (小)0台	(中)0台 (小)0台	(中)3台 (小)0台	上を含む	1人1台	1人1台
学校教育における情報媒体機器の整備 電子黒板(中)	台	各校1台	各校0台	(中)88台	0台	0台	14台	各学級1台	各学級1台
学校教育における情報媒体機器の整備 電子黒板(小)	台	各校1台	各校0台	(小)6台	71台	62台	3台	各階1台	各学級1台

自己評価
 目標達成に効果があった
 ・ALT9名全てを派遣会社からの派遣とした。研修を受けたALTと教員のチームティーチングによって、外国語活動、外国語科の授業改善が進んだ。・瑞穂市GIGAスクール構想を策定・周知するとともに、年度末までに、児童生徒一人一台のタブレット端末を全小中学校に配置した。活用の充実を図るために、担当者研修や活用研修を実施する。

外部評価

基本目標5 活気あふれる元気なまち

③観光・交流

(1) 新たな賑わいの創出

所管 総合政策課

重点施策該当		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		-						
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 既存民間施設を活用した地域活性化拠点を位置づけ、移住・定住に繋がる交流や賑わいの創出を図ります。 民間企業、大学、市民や団体等が連携した官民協働型の地域拠点運営を図ります。 										
	●民間施設を活用した地域活性化拠点創出事業【重】										
主な事業											
年度別実施計画	R2年度（実績）	事業費(千円)	R3年度（計画）		事業費(千円)	R4年度（計画）		事業費(千円)			
	●多世代交流イベントの開催	○	●多世代交流イベントの開催		2,661	●多世代交流イベントの開催		【調】			
	●穂積駅周辺でのほづみ夜市の開催	○	●穂積駅周辺での特色あるイベント開催		21,596の一部	●穂積駅周辺での特色あるイベント開催		【調】			
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
交流人口(観光・交流入込客)			人	40,000	38,000	40,315	46,680	39,787	2,257	55,000	60,000
自己評価	その他	FC岐阜と連携したイベント（さい川サイクルフェス）開催やワイワイ会議が主催するほづみ夜市を企画したが、新型コロナウイルスのまん延防止のために、イベント実施を中止した。今後は、新型コロナウイルスまん延の状況をみながら、官民協働型のイベント開催、あるいは民間団体主導のイベント等を開催を誘導し、交流人口の増加を促すとともに、地域活性化拠点の確保を目指します。									
外部評価											

総合戦略事業

R2

—圏域応援ステーション— 穂積駅圏域拠点化構想推進事業

所管 総合政策課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標2-(2) 商工業の活性化								
施策の内容	<p>・多くの方が行き交う瑞穂市の玄関口であるJR穂積駅周辺の活性化を行うため、多様な主体により練り上げられた穂積駅圏域拠点化構想の将来ビジョン” みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ ～圏域のプラットフォームとして ヒト・モノ・コトをつなぐ・つむぐ・むすぶ～」を実現するため、平成31年度までの期間目標を「地域・圏域への認知」と定め、平成29年度を「地域認知の向上と変化のはじまり」と設定、穂積駅の拠点としての認知向上と意識啓発、取組の見える化につながる初動的取り組みを重点的に実施する。</p>										
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ● JR穂積駅圏域拠点化構想促進事業 ● 駅周辺市民協働活性化事業 ● JR穂積駅圏域拠点化PR事業 	H29全体事業費 23,728千円 うち交付金対象事業費 20,736千円 うち交付金 10,000千円									
年度別実施計画	R2年度（実績）	事業費(千円)	R3年度（計画）	事業費(千円)	R4年度（計画）	事業費(千円)					
	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業	17,618	●穂積駅圏域拠点化構想推進事業	【調】							
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	R1(実績)	R2(実績)	R2(目標)	R7(目標)
穂積駅乗降客数			人	17,606	17,846	18,188	18,480	18,686	13,794	18,700	19,000 (H33)
就業人口・労働力人口			人	25,343 (H22国調)	26,730	26,730	26,730	26,730	26,730	25,000	25,000 (H33)
新規出店数			件	0	2	3	5	6	6	6	8 (H33)
自己評価	目標達成に相当程度効果があった	事業として4年目になり、これまで「ワイワイ会議」を中心として進めてきたまちづくりの見直しを図った。リーダー不在で意見を出し合うだけだった「ワイワイ会議」を発展的に解消し、「JR穂積駅周辺まちづくり協議会エキサイト」にその活動を引き継ぐこととした。この組織はリーダーを設け、自分たちで駅周辺のまちづくりを担っていくことを目標とする。また、コロナ禍で駅周辺イベントの開催を中止する中、地域愛の醸成や圏域飲食事業者の支援、駅周辺での飲食事業の展開の可能性の検証を目的として、弁当市を開催し、地域住民や駅利用者への利便性の向上を図った。地域住民を中心として活動する「駅南金曜市」が継続的に展開されており、それにかかわる事業者が増えることで、更なる深化を目指している。									
外部評価											